

科目名称：	旅行地理 I	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>旅行は、私たちの生活の中で、重要な一部となっています。ビジネスで、プライベートで、家族で、一人で、私たちはたくさん旅行に出ます。何の準備もなしに出る旅行も良いですが、事前に訪れる先の歴史や文化などを勉強しておけば、その旅行はより充実したものになるかもしれません。この授業では観光業を目指す皆さんにとって、最低限覚えておくべき観光地や観光資源を学びます。また、仕事のためとしてだけでなく、皆さん自身も観光を楽しめるような人になって欲しいと思っています。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>日本国内の観光地や温泉などを学びます。 国内旅行業務取扱管理者試験の「国内旅行実務」の範囲を身に付けることが目標です。 各回授業を行うエリアを参照し、事前学修として地図やインターネットを駆使してサブノートに記入してきてください。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	70	30	0	0	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
地理の理解	ほとんどの山河など自然景観の地理的理解が高い。	ある程度の山河など自然景観の地理的理解が高い。	あまり山河など自然景観の地理的理解が高くない。	山河など自然景観の地理的理解がまったくない。
温泉の理解	ほとんどの温泉の地理的理解が高い。	ある程度の温泉の地理的理解が高い。	あまり温泉の地理的理解が高くない。	温泉の地理的理解がまったくない。
その他観光地の理解	ほとんどの観光地の地理的理解が高い。	ある程度の観光地の地理的理解が高い。	あまり観光地の地理的理解が高くない。	観光地の地理的理解がまったくない。
地名の理解	ほとんどの難読地名を正しく理解している。	ある程度の難読地名を正しく理解している。	あまり難読地名を正しく理解していない。	難読地名をまったく理解していない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 北海道の観光資源	本シラバスを精読し、本授業の概観を頭に入れておくこと。	10分
第2回 東北の観光資源	前回の演習内容(北海道)を復習し、次回の授業(東北)の予習をすること。	45分
第3回 関東の観光資源	前回の演習内容(東北)を復習し、次回の授業(関東)の予習をすること。	45分
第4回 中部の観光資源	前回の演習内容(関東)を復習し、次回の授業(中部)の予習をすること。	45分
第5回 関西の観光資源	前回の演習内容(中部)を復習し、次回の授業(関西)の予習をすること。	45分
第6回 中国の観光資源	前回の演習内容(関西)を復習し、次回の授業(中国)の予習をすること。	45分
第7回 四国の観光資源	前回の演習内容(中国)を復習し、次回の授業(四国)の予習をすること。	45分
第8回 九州の観光資源	前回の演習内容(四国)を復習し、次回の授業(九州)の予習をすること。	45分
第9回 沖縄の観光資源／グループワークで小テスト作成	前回の演習内容(九州)を復習し、次回の授業(沖縄)の予習をすること。	45分
第10回 小テスト実施	前回の演習内容(沖縄)を復習し、次回の小テストの準備をすること。	45分
第11回 観光資源：温泉・山・高原・渓谷	前回の小テストの見直しをし、次回の授業(温泉・山・高原・渓谷)の予習をすること。	45分
第12回 観光資源：島・半島	前回の演習内容(山・高原・渓谷)を復習し、次回の授業(島・半島)の予習をすること。	45分
第13回 観光資源：海・川・湖・滝	前回の演習内容(島・半島)を復習し、次回の授業(海・川・湖・滝)の予習をすること。	45分
第14回 観光資源：神社・城跡	前回の演習内容(海・川・湖・滝)を復習し、次回の授業(神社・城跡)の予習をすること。	45分
第15回 主な観光地／小テスト	前回の演習内容(神社・城跡)を復習すること。	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
小テスト15%を2回実施して合計30%。

#### 課題に対するフィードバック

小テストの内容を採点して返却。

#### 教科書・参考書

JTB総合研究所「国内観光地理サブノート」  
主に事前学修で利用します。